

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】令和 2 年 7 月 2 日 (2020.7.2)

【公表番号】特表 2018-511113 (P2018-511113A)

【公表日】平成 30 年 4 月 19 日 (2018.4.19)

【年通号数】公開・登録公報 2018-015

【出願番号】特願 2017-543787 (P2017-543787)

【国際特許分類】

G 0 8 G 1/01 (2006.01)

G 0 8 G 1/14 (2006.01)

G 0 1 D 11/30 (2006.01)

【F I】

G 0 8 G 1/01 C

G 0 8 G 1/14 A

G 0 1 D 11/30 S

【誤訳訂正書】

【提出日】令和 2 年 5 月 7 日 (2020.5.7)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 2 1

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 2 1】

別の実施形態では、ホルダが、センサカプセル交換サイクルの数を検出するように構成された検出装置を含み、これにより、ホルダが別の機能としてセンサカプセル交換サイクルモニタリング機能を有するように構成される。これにより特に、センサカプセルがどの程度の頻度で交換されたかをモニタリングできるという技術的利点が得られる。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 2 3

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 2 3】

別の実施形態では、解離可能な固定がバヨネットマウントによって及び／又はねじ止めによって及び／又は歯止めによって及び／又はクリップ止めによって及び／又は接着によって及び／又はホルダへのセンサカプセルのはめ込みによって形成されるように構成される。上述した各固定手法により特に、ホルダへのセンサカプセルの解離可能な固定が効率的に可能となるという技術的利点が得られる。

【誤訳訂正 3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 5 9

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 5 9】

図 2 には、取付けられた状態のセンサ装置 1 0 1 が示されている。つまり、取り付けられた状態では、センサカプセル 1 0 3 はホルダ 1 0 5 に解離可能に固定されている。この場合、図 2 によれば特に、センサカプセル 1 0 3 はホルダ 1 0 5 内にはめ込まれている。図示されていない実施形態において、付加的にまたは選択的に別の固定手段を設けてもよ

い。例えば、バヨネットマウント及び／又はねじ止め及び／又は歯止め及び／又はクリップ止め及び／又は接着及び／又は磁気接続が行われる。

【誤訳訂正４】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】００６７

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【００６７】

特に、交換サイクルのモニタリング、いわゆるトラッキングを実行する機能が含まれてもいてもよい。

【誤訳訂正５】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項１】

センサ装置（１０１）であって、

内部に配置された１つまたは複数のセンサ（１０７）をカプセル化するセンサカプセル（１０３）と、

交通インフラストラクチャ（１１５）に固定されたホルダ（１０５）とを含む、

前記センサカプセル（１０３）は、前記ホルダ（１０５）内に解離可能に固定されており、

前記１つまたは複数のセンサ（１０７）が、回路板（１１３）上に配置されており、

前記センサカプセル（１０３）は、前記１つまたは複数のセンサ（１０７）と、前記回路板（１１３）とをカプセル化しており、

前記ホルダ（１０５）は、前記センサカプセル（１０３）を前記交通インフラストラクチャ（１１５）に間接的に固定する機能に加えて、１つまたは複数の別の機能をさらに有し、

前記ホルダ（１０５）は、通信ネットワークを介して前記１つまたは複数のセンサ（１０７）のセンサデータを送信するように構成された通信インタフェースを有し、これにより、前記ホルダ（１０５）は、前記別の機能として、通信機能を有している、センサ装置（１０１）。

【請求項２】

前記１つまたは複数のセンサ（１０７）のセンサデータを前記ホルダ（１０５）の前記通信インタフェースへ送信するように構成された通信インタフェース（１０９）が、前記回路板（１１３）上に配置されている、

請求項１に記載のセンサ装置（１０１）。

【請求項３】

前記１つまたは複数のセンサ（１０７）の前記通信インタフェース（１０９）は、無線インタフェースとして構成されている、

請求項２に記載のセンサ装置（１０１）。

【請求項４】

前記ホルダ（１０５）の前記通信インタフェースは、前記１つまたは複数のセンサ（１０７）から光学的な及び／又は電氣的な通信コネクションを介してセンサデータを受信するように構成されている、

請求項１から３までのいずれか１項に記載のセンサ装置（１０１）。

【請求項５】

前記ホルダ（１０５）は、前記１つまたは複数のセンサ（１０７）に電気エネルギーを供

給するための電氣的なエネルギー蓄積器を有し、これにより、前記ホルダ（１０５）は、前記別の機能として、エネルギー供給機能を有する、

請求項１から４までのいずれか１項に記載のセンサ装置（１０１）。

【請求項６】

前記ホルダ（１０５）は、前記１つまたは複数のセンサ（１０７）のセンサデータを記憶するデータメモリを有し、これにより、前記ホルダ（１０５）は、前記別の機能として、センサデータ記憶機能を有する、

請求項１から５までのいずれか１項に記載のセンサ装置（１０１）。

【請求項７】

前記ホルダ（１０５）は、センサカプセル交換の回数を検出するように構成された検出装置を含み、これにより、前記ホルダ（１０５）は、前記別の機能として、センサカプセル交換モニタリング機能を有する、

請求項１から６までのいずれか１項に記載のセンサ装置（１０１）。

【請求項８】

前記ホルダ（１０５）は、前記１つまたは複数のセンサ（１０７）をプログラミングするように構成されたプロセッサを含み、これにより、前記ホルダ（１０５）は、前記別の機能として、センサプログラミング機能を有する、

請求項１から７までのいずれか１項に記載のセンサ装置（１０１）。

【請求項９】

前記センサカプセル（１０３）は、通信ネットワークを介して前記１つまたは複数のセンサ（１０７）のセンサデータを送信するように構成された通信インタフェースを有している、

請求項１から８までのいずれか１項に記載のセンサ装置（１０１）。

【請求項１０】

前記ホルダ（１０５）及び／又は前記センサカプセル（１０３）が、前記センサカプセル（１０３）から前記ホルダ（１０５）へ及び／又は前記ホルダ（１０５）から前記センサカプセル（１０３）へ電気エネルギーを無線伝送するエネルギー伝送装置を含む、

請求項１から９までのいずれか１項に記載のセンサ装置（１０１）。

【請求項１１】

前記エネルギー伝送装置は、コイルである、

請求項１０に記載のセンサ装置（１０１）。

【請求項１２】

前記センサカプセル（１０３）及び／又は前記ホルダ（１０５）が、前記ホルダ（１０５）又は前記センサカプセル（１０３）からＩＤを読み出すように構成されたプロセッサを含む、

請求項１から１１までのいずれか１項に記載のセンサ装置（１０１）。

【請求項１３】

前記プロセッサは、前記ＩＤを誘導的に読み出すように構成されている、

請求項１２に記載のセンサ装置（１０１）。

【請求項１４】

前記プロセッサは、前記ＩＤをコイルによって読み出すように構成されている、

請求項１３に記載のセンサ装置（１０１）。

【請求項１５】

前記解離可能な固定は、バヨネットマウントによって、及び／又は、ねじ止めによって、及び／又は、歯止めによって、及び／又は、クリップ止めによって、及び／又は、接着によって、及び／又は、前記ホルダ（１０５）への前記センサカプセル（１０３）のはめ込みによって、形成されている、

請求項１から１４までのいずれか１項に記載のセンサ装置（１０１）。

【請求項１６】

前記１つまたは複数のセンサは、周囲センサ、駐車位置の占有状態を検出する駐車セン

サ、交通量の監視及び／又は交通密度の測定のための交通センサ、及び、コンテナ占有率の監視のための貯蔵センサを含む複数のセンサ（１０７）のうち１つまたは複数を含む、請求項１から１５までのいずれか１項に記載のセンサ装置（１０１）。

【請求項１７】

前記交通インフラストラクチャ（１１５）は、前記ホルダ（１０５）が内部に固定された駐車場、又は、前記ホルダ（１０５）が固定された道路、又は、前記ホルダ（１０５）が内部に固定されたコンテナ倉庫を含む、

請求項１から１６までのいずれか１項に記載のセンサ装置（１０１）。

【請求項１８】

前記センサカプセル（１０３）は、封止されている、
請求項１から１７までのいずれか１項に記載のセンサ装置（１０１）。